

京都府立医科大学附属病院における虚偽有印公文書作成及び同行使
の疑い事案に係る全容の解明と府民からの信頼回復を求める決議

この度、京都府立医科大学及び同附属病院においては、指定暴力団組長の収監見送りを巡る虚偽有印公文書作成及び同行使の疑いにより、京都府警察本部の強制捜査を受けるとともに、同病院長が事情聴取された。これは極めて憂慮すべき事態である。

こうした事態は、高い倫理性が求められる高等教育機関として、また、高度で安全な医療の提供により京都府民の命と健康を守る医療機関として、府民からの信頼を大きく失墜させるものであり、誠に遺憾である。

京都府、京都府公立大学法人及び京都府立医科大学においては、事態の重大性を改めて認識し、学内における静穏な学習環境と附属病院における適切な医療環境の回復に加え、大学及び同附属病院における教職員の適切な就労環境の回復など、運営の正常化に努めるとともに、早急に府民からの信頼の回復に向けた取組を進める必要がある。

よって、本府議会は、京都府、京都府公立大学法人及び京都府立医科大学に対し、二度とこうした事態を引き起こすことがないよう、この度の事案の全容解明と京都府立医科大学における反社会的勢力への対応の厳格化や適正な管理体制の確立に取り組み、府民からの信頼回復に努めるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年3月22日

京 都 府 議 会